



News

博報堂 広報室

HAKUHODO

Corporate Public Relations Division

tel:03-6441-6161 fax:03-6441-6166

www.hakuhodo.co.jp

2017年4月3日

博報堂 2017 年度入社式社長祝辞

博報堂は4月3日（月）午前10時、港区赤坂の本社に108名の新卒採用者を迎え、水島正幸社長以下役員及び部門長が出席し、2017年度入社式を行いました。新入社員が一人ひとり紹介された後、水島社長が歓迎と激励の言葉を贈りました。

趣旨は以下の通りです。

本日、私たちは108名の無限の可能性を持ったみなさんを、新しい仲間として迎えることになりました。会社を代表して、心より歓迎いたします。

みなさんがこれから博報堂の社員としてスタートするにあたり、お話ししたいことがあります。それは、「初心忘るべからず」という言葉です。

みなさんは「博報堂で、こんなことをやりたい」という、それぞれの志を持っていると思います。それを忘れてはいけないということです。

私のことをお話しします。私が博報堂に入社したのは今から35年前の1982年です。他の業界ではなく、広告会社を、博報堂を選んだのは、面白い仕事をしたかったからです。みなさんの中にも同じような思いの方がいるのではないのでしょうか。

私は入社式から一ヶ月あまりの研修を終え営業に配属されたのですが、地味な仕事ばかりで全く面白くなりませんでした。言われたことをやるだけで精いっぱいの日が数カ月続いていたある日、同じ部の先輩にこう言われました。博報堂では「出ない杭は打たれもしない」という言葉があると。先輩のアドバイスは、せっかく博報堂に入社して、たくさんの優秀なスタッフに囲まれて、得意先にも恵まれていても、自らが仕事を面白くしようと必死に動き回らないと何も起きない、ということでした。

私は面白いことをやりたくてこの会社に入社したにも関わらず、すぐに初心を忘れて努力を怠っていました。「出ない杭は打たれもしない」という言葉は、私の初心を忘れさせない言葉としてずっと耳にこびりついて離れませんでした。

それ以来、私はいつも「世の中を動かす」ような面白い仕事に関わりたいと願い、活動するよう心がけてきました。幸運にも自分が担当した仕事で、何度か世の中が動く瞬間にめぐり合うこと

ができました。我々にはたくさんのお得意先があって、それぞれの市場で、企業がしのぎを削っています。どのお得意先も商品やサービスを一生懸命開発して、世の中を動かそうとしています。そこで行われるマーケティング活動で、時々奇跡のような逆転劇が起きるのです。世の中が動くには、人の心を動かさなければなりません。広告会社は人の心を動かすことが仕事です。パートナーとして得意先に貢献し、共に大きな成功と喜びを分かち合えた時は、広告会社冥利に尽きるというものです。

広告の仕事は若い感性が生きる仕事です。入社して間もなくとも、面白い仕事をしようと思えばいくらでも面白くなります。

みなさんが博報堂でやりたいこと、初心を大事にさせていただきたいと思います。そして、今朝、家を出た時の張り詰めた気持ちを、今日この場に座っている高揚感を、忘れないようにしてください。

さて、広告業界はかつて無い大きな転換点を迎えております。メディア、コミュニケーション、デジタルなど、あらゆる領域で日進月歩で大きな変化がおきています。みなさんは、そんな潮の変わり目にこの業界に入ってきました。

これからの変化の時代に向けて、博報堂と博報堂DYメディアパートナーズは5年後、10年後に目指すべき姿を言葉にしました。それは「未来を発明する会社へ。Inventing the future with *sei-katsu-sha*」です。私たちが「生活者と共に未来をつくる」存在になりたい、という強い意志表示です。「広告をつくる」を超えて、「未来を発明する」という大きな視点を持つことで、私たちのビジネスは未知の領域に拡大し、さらには広告ビジネスそれ自体も全く新しい形に生まれ変わる可能性が見えてきます。

今日入社されたみなさんが定年を迎えるのは2060年頃です。それまでにもっと大きな変革が何度もやってくることでしょう。変化を楽しみながら新しい博報堂を共に作っていきましょう。

博報堂が大事にしている二つの言葉をお伝えしたいと思います。

一つ目は「粒ぞろいより粒ちがい」です。

博報堂の誇るべき能力はクリエイティビティです。新しいアイデアは、異なった価値観、異質な才能、多様な文化のぶつかり合いから生まれます。だからみなさんそれぞれが粒ちがいになって欲しい。粒ちがいになるには、一人ひとりが自分の得意技を作る必要があります。みなさん全員が違う技を持てば、博報堂のクリエイティビティは飛躍的に上がります。これからしばらくは成長することが仕事です。成長するためには貪欲に学ぶことが必要です。博報堂のこと、広告業界のこと、世の中のことを幅広く知ってください。社外の交流も大事です。会社としても、みなさんの成長を促す機会をどんどん作っていきたいと思っています。

もう一つの言葉は「チーム」です。

「チーム」という言葉は、博報堂の働き方についての考え方を表している言葉です。「グループ」と「チーム」は違います。「グループ」は単なる人の集まりですが、「チーム」はゴールを目指すパッションで結ばれた集団です。博報堂はチームで仕事をします。営業、制作、マーケの三位一体が代表的なチームの単位です。アイデアを生み出すチームの中に上下関係はありません。年齢も、性別も、職種も関係ありません。博報堂には、良いアイデアは、誰が出そうが良いものは良いと認め合う「チーム」の文化があります。「粒ちがい」の能力を持つ「個」の力と、お互いを高めあう「チームの力」が、高度なクリエイティビティを生むのです。「チーム」は得意先の課題を解決しようという高い志で結ばれた集団です。だから助け合いの精神に満ち溢れています。忙しく、難しい仕事が増えているからこそ助け合いが大事です。新しい働き方が求められている時代だからこそ「チームワーク」が大事です。

今日から新人研修が始まります。博報堂には学閥はありません。その代わりに社会年齢を基準にした年次文化があります。同期という強い絆です。まずはみなさん 17 入社組というチームをしっかりと築いてください。

さて今日から博報堂は新たな経営チームとなりました。私たちも全力を尽くして博報堂の舵取りを行ってまいります。

共に「未来を発明する会社へ」向かって、博報堂の未来を、力強く切り拓いていきましょう。みなさんのご活躍を大いに期待しています。

以上をもちまして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

【本件に関するお問い合わせ】

博報堂 広報室

大久保・江渡

TEL : 03-6441-6161